

処理対象人口と処理槽の構成

JARUS - I₉₆型の処理対象人口は51人から1,800人までですが、処理槽の構成は人口規模に応じ次のとおりです。

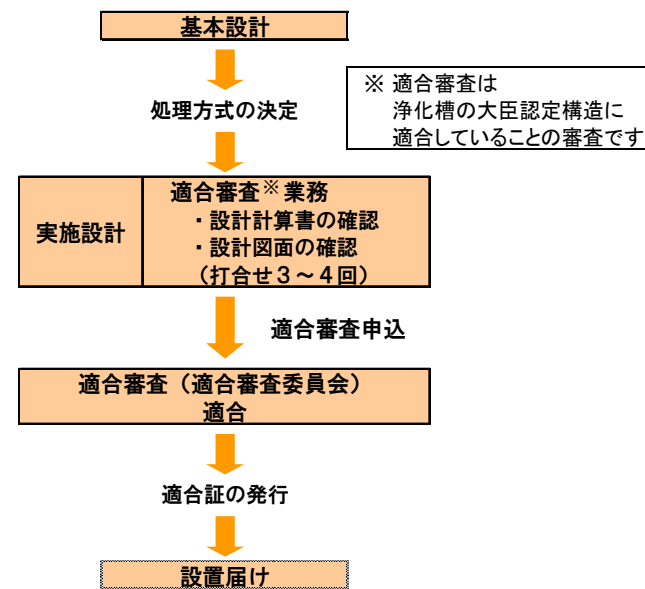
処理対象人口	系列	沈殿分離槽	接触ばっ気槽	沈殿槽	処理対象人口(人)					
					50	400	500	800	900	1,800
51人 ～ 500人	1系列	2室直列	2室直列	ホッパー型	○	●				
401人 ～ 900人	2系列	2室直列	3室直列	ホッパー型		○	●			
801人 ～ 1,800人	4系列	2室直列	3室直列	ホッパー型			○	●		

JARUS型施設の利点と設計の進め方

■JARUS型施設による4つの利点！

- 多様な処理システムを開発しています。
 - 各種の処理方式の中から地域特性に見合った処理方式が選択できます。
- 設計指針の整備により合理的な設計を行います。
 - 設計指針の整備により、施設設計の簡素化や合理化が図れます。
- 高い維持管理性を確保したものです。
 - 設備や単位装置の基準化により、維持管理業務の標準化を通じて高い維持管理性を確保します。
 - 維持管理マニュアルを整備し、適正な維持管理が図れます。
- 工事発注等に際し、公平性を確保します。
 - JARUS型施設は、設計者及び施工者を特定していません。
 - 施設に用いる機器類は、汎用品の採用に努めています。
 - 使用する主要機器は、汎用化した図面等によるものとし、設計者及び施工者等を制限しません。

■JARUS型施設に係る設計の進め方



〒105-0004
 東京都港区新橋五丁目34番4号
 電話(03)3432-5295(代)
 FAX(03)3432-0743
<http://www.jarus.or.jp/>

JARUS - I₉₆型

JARUS型施設の手引



一般社団法人 地域環境資源センター

JARUS - I₉₆型とは……農村向けのシンプルな構造を目指した処理施設です。

JARUS - I₉₆型の特徴

- 沈殿分離槽を前置した接触ばっ気方式です。沈殿分離槽を前置することにより、後段に組み合わせる接触ばっ気槽への流入負荷の安定化と処理性能の向上を図ったものです。
- 処理対象人口及び計画処理水質は次のとおりです。
- 建築基準法に基づき、尿尿浄化槽の構造基準の規定と同等以上の性能を有する施設として国土交通大臣の認定を取得しています。
- 浮遊生物法による処理方式に比べて、汚泥の発生量が少なく、流入負荷変動の大きい小規模な農業集落においても、シンプルな構造で安定した処理性能を得ることができます。
- 運転操作には、空気量の調整、接触材の逆洗、沈殿槽の汚泥引抜量の調整などがありますが、この操作を頻繁に行う必要はなく、維持管理手法は容易です。

処理対象人口	計画処理水質 (mg/L)	
	BOD	SS
51人以上 1,800人以下	20以下	50以下

処理工程の説明



- 汚水中の夾雑物等を除去し、原水ポンプの破損及び後段の処理槽等の機能低下を防止します。
- 汚水中の土砂類を排除します。
- 汚水中の固形物等を破砕します。
- 沈殿分離槽へ汚水を移送します。ただし、流入管底が浅く自然流下により沈殿分離槽に移送させることができる場合は不要となります。
- 汚水中の微細なし渣等を除去します。ただし、維持管理方式によっては必要ない場合があります。
- 汚水中の固形物を沈殿させて固液分離を行い、次の接触ばっ気槽への流入負荷の安定化を図ります。
- 槽内に接触材を充填するとともに、槽の底部に散気装置を設置して空気を供給し、沈殿分離槽からの流出水を接触材表面の生物膜と接触させ好気的な状態で浄化します。
- 接触ばっ気槽から移流した生物膜等のSSを沈降させて固液分離を行い、清澄な処理水を得ます。
- 塩素剤により、処理水の消毒を行います。

汚泥濃縮貯留槽

- 引抜汚泥を濃縮貯留します。なお、処理対象人口が501人以上の場合は、汚泥濃縮槽または汚泥濃縮装置とすることもできます。

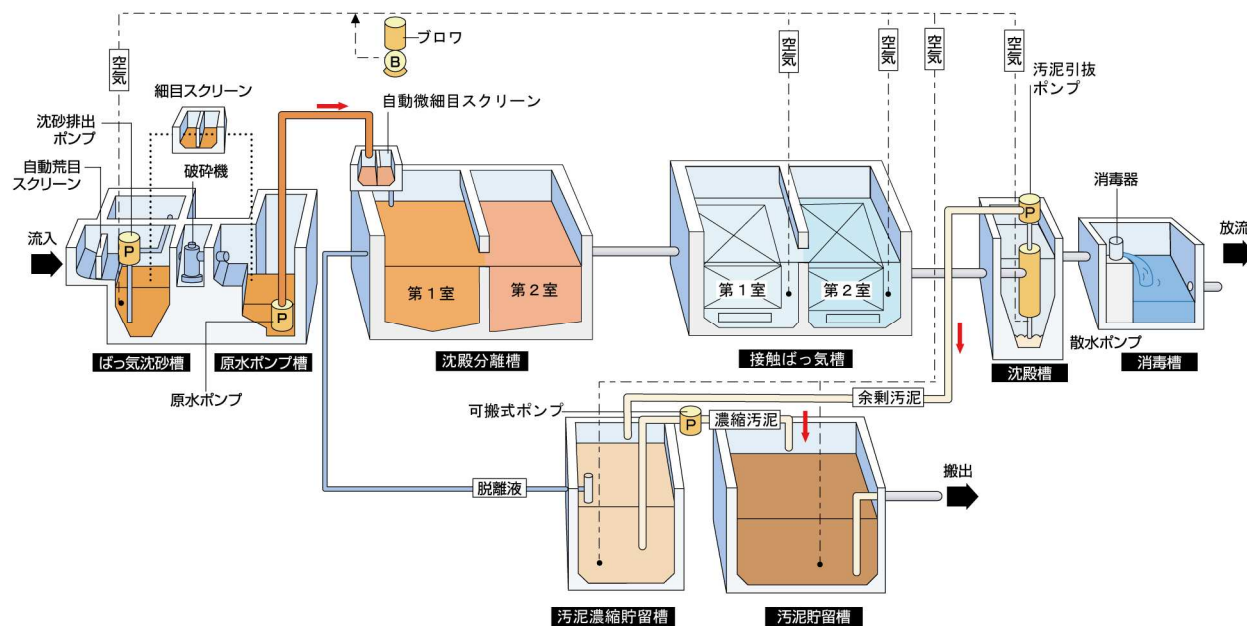
汚泥貯留槽

- 濃縮汚泥を搬出するまで貯留します。

処理方式とフローシート

■処理方式 沈殿分離及び接触ばっ気を組み合わせた方式

■フローシート



■JARUS - I₉₆型の平面形状 (例)

